

Once in a blue moon — 諸聖人の日に—

病室の窓から夜空を眺める

冴えわたる空気 今日満月

「白くて大きなお月さまね」とわたし

みーちゃんは小さな手で指さす

かすかに瞬く星々

「お星さまはね、お月さまの子どもみたい」

白い壁の病室で

みーちゃんはどんな夢を見るのだろうか

絵本の中の動物たちと 野原を駆け回るのだろうか

虹の架かる大空の下で

そよそよと吹く風に吹かれて

みーちゃんの小さな手が指さす

「お母さん、みーちゃんはお星さまになる」

「お母さんはお月さまでね、みーちゃんはお星さまだよ」

「お空で一緒になれるよね」

ずっとずっと一緒にいようね、みーちゃん

月夜の晩 空を眺める

瞬く星の数々

みーちゃん、本当にお星さまになったのね

空を見上げれば かならず会える

いつも いつまでも

一緒にいようね